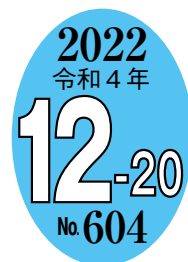




地域を見つめる経済情報誌

# 長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

## 月例調査レポート



### 長野市 犀川緑地 長野えびす講煙火大会

全国花火大会の一年を締めくくる大会として、人気の長野えびす講の花火。116回目を迎えた伝統あるこの大会も、今年はいいにくの雨模様。久しぶりに設けられた有料観覧席では、遠方からのバスツアーの見物客が、晩秋の夜空を彩り、山々にこだまする大迫力の花火を堪能していました。  
「大雨の 御礼花火や 除地川原」 小林 一茶 (文政句帖)

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業アンケート 環境に配慮した「企業経営」③ ..... 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン ..... 8
- 北信濃明治時代の風景 (9) 妻科神社 ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



# 概況 全産業

## 生産は4カ月ぶりの低下 前年同月比は4カ月連続の上昇

### ◇2022年9月の長野県鉱工業指数

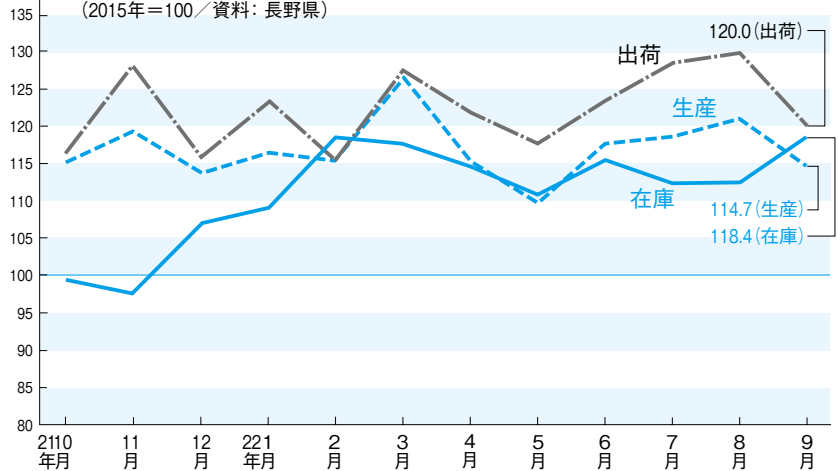
(速報：季節調整済指数)

生産は114.7(前月比▲5.2%)で4カ月ぶりの低下、出荷は120.0(同▲7.6%)で4カ月ぶりの低下、在庫は118.4(同+5.3%)で2カ月連続の上昇となりました。

### ◇前年同月比(原指数)

生産は117.8(前年同月比+2.8%)で4カ月連続の上昇、出荷は123.4(同+4.4%)で4カ月連続の上昇、在庫は112.9(同+25.9%)で12カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、プラスチック製品、窯業・土石製品など4業種  
低下…電子部品・デバイス、化学、食料品など13業種
- [出荷] 上昇…情報通信機械、窯業・土石製品、プラスチック製品の3業種  
低下…電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械、食料品など14業種
- [在庫] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、食料品など11業種  
低下…その他、プラスチック製品、非鉄金属など5業種

## 月例調査

### 全産業の「売上高」は増加

前回調査 2022年9月

### ◇11月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(44

%)が5ポイント増加、「減少」割合(19%)が11ポイント減少、「不変」割合(37%)は6ポイント増加、全体としては増加の状況です。

### ●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少  
改善 不変 悪化

業種	前回	今回	改善	悪化	調査対象数	回収率	30人未満	30人以上
全産業	38.5 →	43.5 ↑	↑	↓	196社	86.0%	73.5%	26.5%
製造業	37.7 →	43.5 ↑	↑	↓	207社	90.8%	73.9%	26.1%
建設業	47.0 ↑	36.3 →	↓	↑	69社	85.2%	62.3%	37.7%
卸小売業	43.2 ↑	31.8 ↑	↑	↓	66社	93.0%	87.9%	12.1%
サービス業	37.5 ↓	37.5 ↑	↑	↓	44社	91.7%	84.1%	15.9%
輸送業	40.0 ↓	30.0 ↑	↑	↓	8社	100.0%	87.5%	12.5%
外食業	70.0 ↑	30.0 ↑	↑	↓	10社	100.0%	30.0%	70.0%
					10社	100.0%	50.0%	50.0%

# 製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高」金属加工が減少するも、全体は増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(38%)が横ばい、「減少」割合(19%)が10ポイント減少、「不変」割合(44%)が11ポイント増加、全体として増加の状況です。

### ●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	38.1	33.3	28.6
	今回	増加 37.7	不変 43.5	減少 18.8
食料品		33.3	53.4	13.3
金属加工		30.8	53.8	15.4
一般機械		57.1	42.9	0.0
電気機械		-0.0	66.7	33.3
自動車部品		80.0	20.0	0.0
精密機械		42.9	42.8	14.3

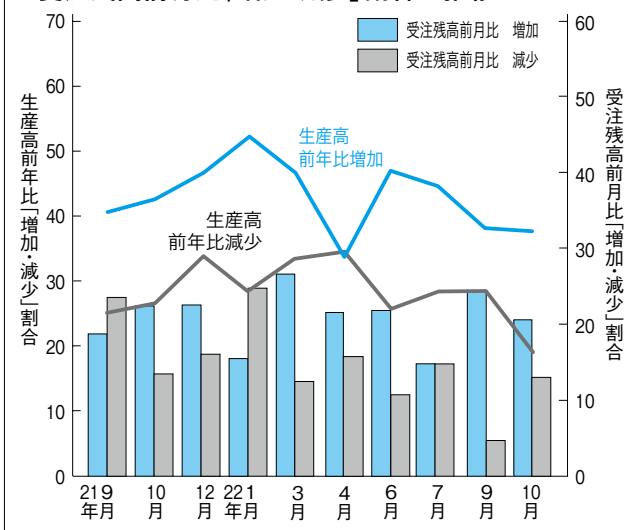
【業種別】 増加…食料品・一般機械・自動車部品・精密機械  
横ばい…電気機械  
減少…金属加工

【機械稼働】 (前回比) 稼働率 下降  
上昇割合 (20%) → 16%  
下降割合 (9%) → 16%

【受注状況】 受注量 (前回比) 下降  
増加割合 (24%) → 21%  
減少割合 (5%) → 13%  
受注残高 (2.0ヵ月) → 1.8ヵ月

【受注基調】 (前回比) 下降  
上昇割合 (22%) → 21%  
下降割合 (11%) → 13%

### ●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%)



### 企業からのコメント

☆★材料費の高騰分については売上げに転嫁できているが、電気料金や消耗品費の高騰分については負担は増加している。(基盤)

☆★9月より価格改定を行ったが、10月は昨年並で結果物量が減のため、値上げ分が落ちている様子。原料高・原油高・円安の影響のため利益が減少。(そば)

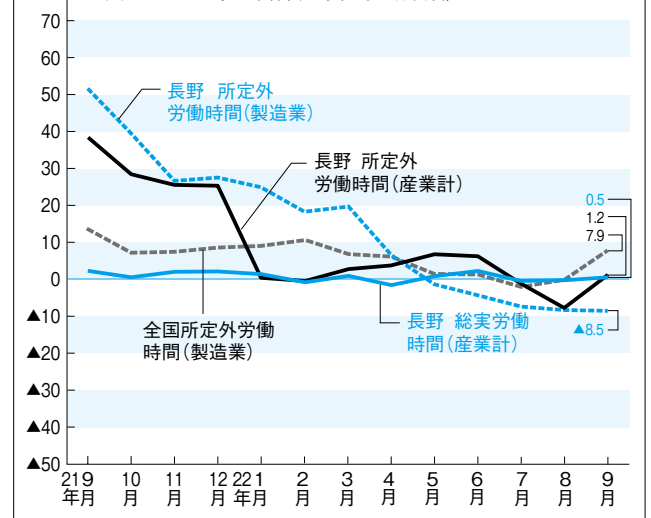
☆★受注は回復し、安定した状況であるが、ウクライナ情勢による円安・物価高で部品入手の遅れがあり、折角の受注が処理出来ず、併せて収益の悪化に悩まされている。(投影機)

★電子部品については、一部受注先において生産調整に入っており。この状況が年内は続く見通しである。

(リードフレーム)

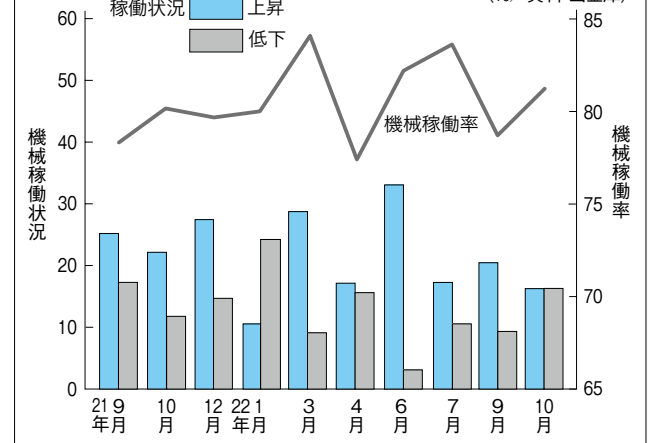
### ●長野県の労働時間の動き(前年同月比)

規模30人以上(%)資料:長野県・厚生労働省



### ●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移

(%)資料:当金庫



# 建設業 総合建設、土木工事、建築、各種設備

## 「施工高」全ての業種が増加

### 概況

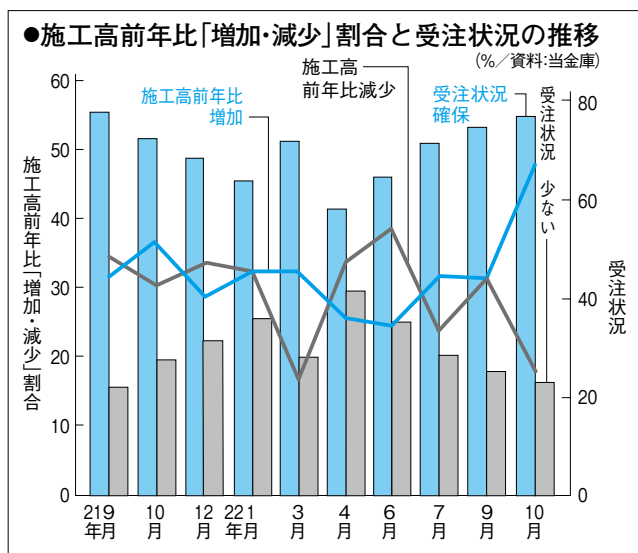
建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(47%)が16ポイント増加、「減少」割合(17%)が14ポイント減少、「不変」割合(36%)が1ポイント減少、全体としては増加の状況です。

#### ●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	31.3	37.4	31.3
	今回	増加 47.0	不変 36.3	減少 16.7
総合建設業		54.5	36.4	9.1
土木工事業		41.7	25.0	33.3
建築業		45.8	41.7	12.5
各種設備業		27.3	54.5	18.2

【業種別】増加…総合建設・土木工事・建築・各種設備

【受注状況】受注残高(前回比) 改善  
 「多い・適正」割合 (75%) → 77%  
 「少ない」割合 (25%) → 23%



### 企業からのコメント

- ★資材高騰のために、完成引き渡しが増える工事が多いうえに、人手不足もあって公共・民間工事ともに苦戦している。
- ★全国展開の建売業者が地元の不動産屋とタイアップして、比較的狭い区画で安い価格の物件販売をしている。今後も注視していきたい。(以上総合建設業)
- ☆★鋼材費は高止まりで安定してきたが、副資材の高騰は依然として続いている。(鉄筋工事)

### 10月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4月～10月の発注合計は、1,447.7億円(前年同期比▲17.6%)となりました。前年比マイナスは「国」の280.4億円(同▲25.2%)、「県」の467.1億円(同▲7.4%)、「市町村」の453.1億円(同▲1.8%)、「その他」の240.4億円(同▲41.5%)です。

北信地区市町村の発注合計は122.0億円(同+10.3%)で、うち長野市は58.0億円(同+22.9%)でした。

#### ●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2022年10月/2022年4月～10月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証㈱)

		2022年10月	前年同月比	2022年4月～10月	前年同期比
長野県	国	4,750	+149.5%	28,042	▲25.2%
	県	4,539	▲6.1%	46,710	▲7.4%
	市町村	4,463	▲24.0%	45,313	▲1.8%
	その他	430	▲60.8%	24,036	▲41.5%
	合計	14,198	+3.4%	144,766	▲17.6%
北信地区	市町村	1,188	▲33.7%	12,202	+10.3%
	(内長野市)	625	▲48.2%	5,805	+22.9%

### 4～10月の新設住宅着工戸数

長野県の4～10月の新設住宅着工戸数は7,508戸(前年同月比+1.6%)でした。持家が4,007戸(同▲11.2%)、貸家が2,090戸(同+10.0%)、分譲が1,399戸(同+43.8%)、給与が12戸(同+140.0%)です。

北信地区の4～10月の新設住宅着工戸数は1,928戸(同▲10.2%)でした。持家が1,039戸(同▲16.3%)、貸家が441戸(同▲26.6%)、分譲が446戸(同+46.7%)、給与が2戸(同+100.0%)です。

#### ●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数(2022年10月/2022年4月～10月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	10月	124戸	45戸	155戸	0戸	324戸
	(内長野市)	65戸	5戸	141戸	0戸	211戸
	前年同月比	▲30.3%	▲67.9%	+573.9%	—	▲5.0%
	(内長野市)	▲44.4%	▲93.8%	+642.1%	—	▲2.3%
	4～10月	1,039戸	441戸	446戸	2戸	1,928戸
前年同期比	▲16.3%	▲26.6%	+46.7%	+100.0%	▲10.2%	
長野県	10月	500戸	344戸	238戸	3戸	1,085戸
	前年同月比	▲24.9%	▲11.1%	+98.3%	皆増	▲7.5%
	4～10月	4,007戸	2,090戸	1,399戸	12戸	7,508戸
	前年同期比	▲11.2%	+10.0%	+43.8%	+140.0%	+1.6%

## 卸小売業

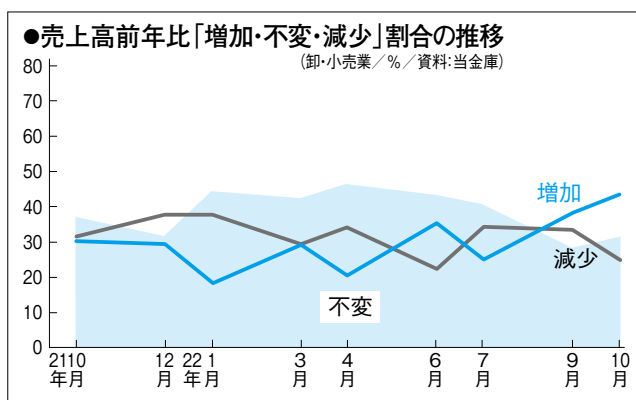
卸売業、小売業

### 「売上高」小売が増加、卸売は減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(43%)が5ポイント増加し、「減少」割合(25%)が8ポイント減少、「不変」割合(32%)が3ポイント増加し、全体として売上げは増加の状況です。

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	38.1	28.6	33.3
	今回	増加 43.2	不変 31.8	減少 25.0
卸売業		33.3	33.4	33.3
小売業		50.0	30.8	19.2



【業種別】 増加…小売業 減少…卸売業

10月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……104.9 (14カ月連続プラス)

(前月比+0.7%、前年同月比+4.4%)

上昇…「食料」「家具・家事用品」「被服及び履物」

「光熱・水道」「住居」「保健医療」「諸雑費」

下落…「教養娯楽」

◇生鮮食品を除く総合指数…104.8 (15カ月連続プラス)

(前月比+0.7%、前年同月比+4.4%)

#### 企業からのコメント

☆「ながのビッグプレミアム商品券」や「押し店プラチナチケット」の効果が大きく、売上げは伸びている。

(家電販売)

☆★中古車需要は堅調に推移している。新車納入の遅延状態は依然として続いているが、需要は伸びている感じがする。

(自動車販売)

☆★酒類メーカーの値上げが相次ぎ、値上げ前の駆け込み需要で売上げは増加している。だが、年末年始の動向は今のところ不確実で、気がかりである。

(酒類)

## サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

### 「売上高」サービスは減少、外食は増加、輸送は横ばい

サービス業 売上高前年比「増加」割合は25ポイント減少の38%、「減少」割合は12ポイント増加の25%、「不変」割合は13ポイント増加の38%と、売上げは減少の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は10ポイント減少の40%、「減少」割合は10ポイント減少の30%、「不変」割合は20ポイント増加の30%と、売上げは横ばいの状況。タクシーは減少、運輸は増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は7ポイント増加の70%、「減少」割合は25ポイント減少の0%、「不変」割合は17ポイント増加の30%と、売上げは増加の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比42ポイントの増加、前年同月比は26ポイントの増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」が14ポイント増加の43%、「引合いやや増加」が29ポイント減少の14%でした。

#### 企業からのコメント

☆観光客の「信州観光クーポン」と「交通クーポン」の利用者が多く、県外客が長野に来ているという実感があって手応えを感じる。特に小布施町は「交通クーポン」の利用が1日70枚という日もある (タクシー)

☆★最低賃金の上昇ならびに再来年からの“時間外労働の規制”を目前にして、人件費の増加を見越した価格転嫁が急務となっているが、なかなか進んでいない。(トラック)

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	62.5	25.0	12.5
	今回	増加 37.5	不変 37.5	減少 25.0
輸送業	前回	50.0	10.0	40.0
	今回	40.0	30.0	30.0
うちタクシー業		66.7	0.0	33.3
うち運送業		28.6	42.8	28.6
外食業	前回	62.5	12.5	25.0
	今回	70.0	30.0	0.0

「SDGs推進」期待する支援策

「活用できる補助金・助成金」42% 「取り組み事例の公表」35%  
 「セミナー等の開催」13% 「SDGs相談窓口の開設」4% 「専門相談員の派遣」4%  
 「従業員教育への協力」4% 「別になし」20% 「取り組む考えはない」5%

「SDGsや地球温暖化」企業の取り組み

「社会貢献策として重要」47% 「企業イメージの向上」34%  
 「他企業との取引上必要」9% 「メリットはない」9%  
 「ビジネスチャンス」5% 「分からない」13% 「取り組む考えはない」4%

企業アンケート  
 環境に配慮した  
 「企業経営」③  
 2022年9月調査

「SDGs推進」に期待する支援策 「活用できる補助金・助成金」が42%、「取り組み事例の公表」が35%、「セミナー等の開催」が13%、「SDGs相談窓口の開設」「専門相談員の派遣」「従業員教育への協力」がそれぞれ4%、「別になし」が20%、「取り組む考えはない」は5%でした。

「SDGsや地球温暖化」への企業の取り組み 「社会貢献策として重要」が47%、「企業イメージの向上」が34%、「他企業との取引上必要」が9%、「メリットはない」が9%、「ビジネスチャンス」が5%、「分からない」が13%、「取り組む考えはない」は4%でした。

「SDGs推進」期待する支援策

「活用できる補助金・助成金」42%  
 「取り組み事例の公表」35%  
 「セミナー等の開催」13%  
 「相談窓口の開設」4% 「専門相談員の派遣」4%  
 「従業員教育への協力」4% 「別になし」20%  
 「取り組む考えはない」5%

「SDGs推進に向けて、期待する支援策」を聞きました。

トップは「活用できる補助金・助成金」(42%)、2番目は「他社の取り組み事例の公表」(35%)、以下「セミナー等の開催」(13%)、「SDGs相談窓口の開設」(4%)、「専門相談員の派遣」(4%)、「従業員教育への協力」(4%)、「別になし」(20%)、「取り組む考えはない」(5%)

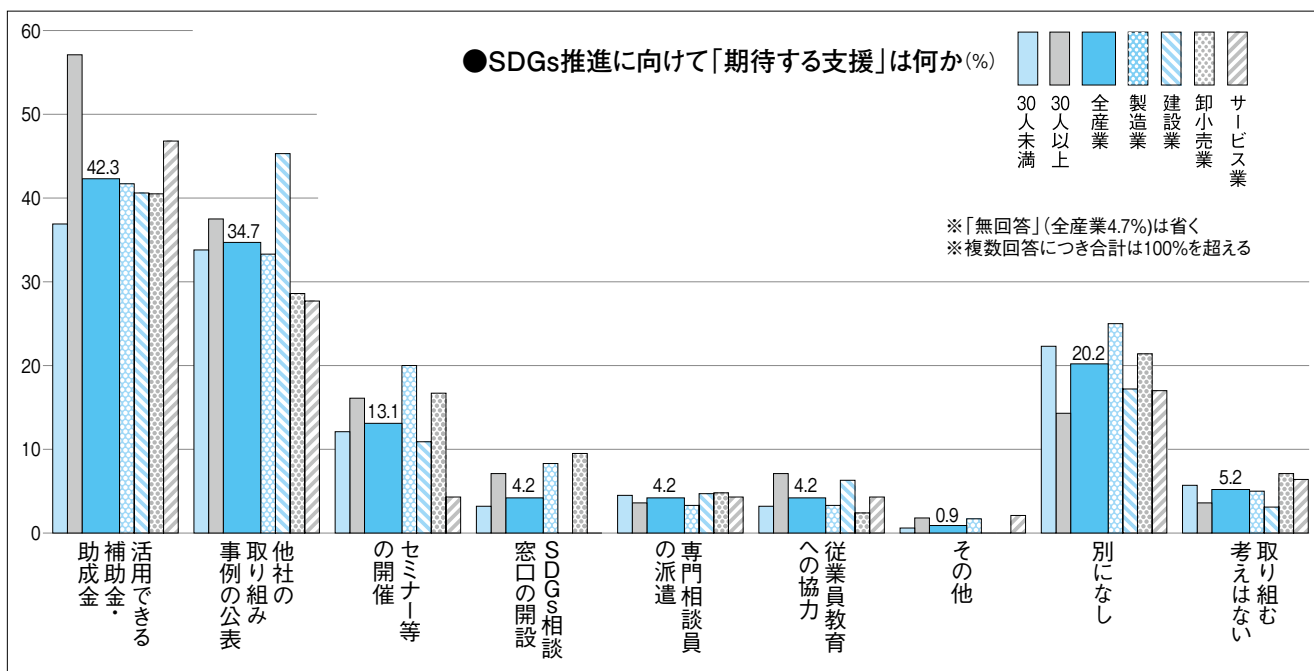
開設」「専門相談員の派遣」「従業員教育への協力」がそれぞれ4%となっています。また「別になし」も20%、「取り組む考えはない」が5%という結果となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「別になし」(22%)が30人以上より8%高くなっています。30人以上は「活用できる補助金・助成金」(57%)が30人未満より20%高くなっています。

業種別

卸小売業が「3項目」でトップ

◇4業種の状況



**製造業** 「セミナー等の開催」(20%)と「別になし」(25%)が4業種中トップで、「活用できる補助金・助成金」(42%)、「他社の取り組み事例の公表」(33%)、「SDGs相談窓口の開設」(8%)は2番目です。

**建設業** 「他社の取り組み事例の公表」(45%)、「従業員教育への協力」(6%)がトップで、「専門相談員の派遣」(5%)は2番目です。

**卸小売業** 「SDGs相談窓口の開設」(10%)と「専門相談員の派遣」(5%)、「取り組む考えはない」(7%)がトップで、「セミナー等の開催」(17%)、「別になし」(21%)は2番目となっています。

**サービス業** 「活用できる補助金・助成金」(47%)がトップで、「従業員教育への協力」(4%)と「取り組む考えはない」(6%)は2番目です。

- ◆「SDGsや地球温暖化」企業の取り組み
- 「企業の社会貢献策として重要」47%
  - 「企業イメージの向上につながる」34%
  - 「他企業との取引上必要」9%
  - 「メリットはない」9% 「ビジネスチャンス」5%
  - 「分からない」13% 「取り組む考えはない」4%

「SDGsや地球温暖化対策に企業が取り組むことをどのように考えるか」を聞きました。

トップは「企業の社会貢献策として重要」(47%)、2番目は「企業イメージの向上につながる」(34%)、3番目は「他企業との取引上必要」(9%)となりました。以下「業種的にメリットはない」(9%)、「ビジネスチャンスである」(5%)と続いています。ま

た「分からない」(13%)、「取り組む考えはない」(4%)という結果となっています。

**従業員規模**で見ると、30人未満は「分からない」(16%)が11割、「業種的にメリットはない」(10%)が5割、30人以上より高くなっています。30人以上は「企業の社会貢献策として重要」(59%)が17割、「企業イメージの向上につながる」(46%)が17割、「ビジネスチャンスである」(9%)が6割、30人未満より高くなっています。

**業種別**  
製造業が「3項目」でトップ

◇4業種の状況

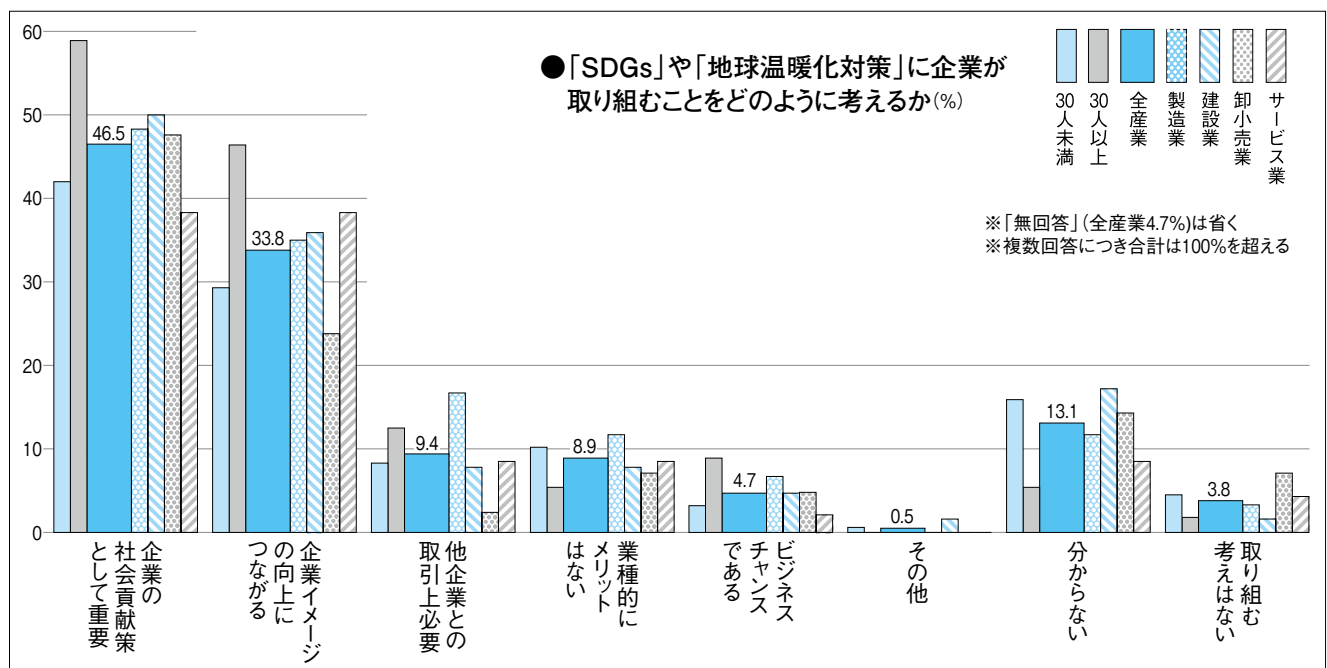
**製造業** 「他企業との取引上必要」(17%)、「業種的にメリットはない」(12%)、「ビジネスチャンスである」(7%)の3項目が4業種中のトップで、「企業の社会貢献策として重要」(48%)は2番目です。

**建設業** 「企業の社会貢献策として重要」(50%)がトップで、「企業イメージの向上につながる」(36%)は2番目です。

**卸小売業** 「取り組む考えはない」(7%)がトップで、「ビジネスチャンスである」(5%)は2番目となっています。

**サービス業** 「企業イメージの向上につながる」(38%)がトップで、「他企業との取引上必要」(9%)、「業種的にメリットはない」(9%)、「取り組む考えはない」(4%)は2番目となっています。

◇次号は「2023年の経営見通し」を予定





## 新塗料をいち早く取入れ クライアントに提案

株式会社 中沢塗装  
代表取締役 中沢 英俊さま

### ●創業の経緯をお聞かせください…

私の父が兄弟で一般建築塗装の専門業者として、1973年(昭和48)に起業したのが始まりです。

長男である私は、いずれは会社を継承するとの思いから、学校を卒業後、長野市内の塗装会社に入社して技術の習得に努めました。(株)中沢塗装への入社は1993年(平成5)のこと。主に現場で働いていました。1998年(平成10)、私が27歳のとき、父の急死により会社を引継ぐことになりました。あまりにも突然の出来事であり、経営に関しては分からないことばかりで、5年間ほどは本当に苦労しました。

今になって思えば、このとき、周囲の方々の温かい助言や指導により多くのことを学ばせて頂いたことが、現在の自分の仕事に活かされていると思っています。

### ●業務の概要をお聞きます…

私どもの業界は、大きく二つの分野に分かれます。ひとつは、一般住宅の内装・外壁や屋根を施工する「建築塗装」、もうひとつは、橋梁やプラント・工場の施設塗装・水処理設備塗装などの「土木塗装」です。

私が社長に就任したころから、北信地域において建築塗装の業者が増加し、競争が激しくなってきました。そこで、比較的ほかの業者が行っていなかった「土木塗装」の分野に進出しました。現在、当社の業務の7割弱が土木塗装です。また、(株)角藤さんの橋梁関係の塗装に関して全てを請け負っています。

橋梁塗装の主な業務に、工場で組立てた各パーツへの塗装があります。その工場塗装も担当

させて頂いておりますので、当社の社員4名が角藤さんに常駐しています。仕上がったパーツを現場に持ち込み、組立て後の接合個所に塗装を施して完成させます。ひとつの現場の工期は約半年になります。

屋外塗装は、塗装面が雨風にさらされるのでサビを防止するための下地処理が重要になります。特に橋梁塗装は、工場・現場のどちらにおいても6~7層の処理を実施して耐久性を高めます。建築塗装に比べて多くの作業工程があるのは、約30年間塗膜を維持させるために、国土交通省の基準が定められているからです。

橋梁工事は、新規案件を除き改修工事は3月末までの工期の現場が比較的多いです。その中で塗装は最後の工程になるので、1~2月の寒い時期に行うことが多く、作業日数も限られてきます。屋外の作業ですから天候や湿度にも大きく左右されるため、塗料の管理は職人の経験と勘が非常に重要になります。

社員全員が1級塗装技能士(建築・鋼橋作業)などの国家資格を所有しています。この取得費用は全額会社負担です。さらに、塗料や吹き付けの機械などは年々進化していますから、そのための社内研修会を定期的実施しています。

塗装業務とは分野が異なりますが、国土交通省の認可を受けて「ドローン空撮」業務も行っています。当初、自社が屋根などの高所検査のために導入したのですが、高所の検査が容易に行えることから、近年は利用者が増加してきており、通常の業務として受注しています。

### ●コロナ禍の影響や対応をお聞かせください…

資材の入荷遅れや組み立て作業員のコロナ感染によって工事がストップしたり、工期の遅延が発生したり、塗料の入荷遅れもあって業務に支障が出ました。

しかし、一番の影響は塗料価格の高騰です。橋梁用の塗料は特殊で、国内の製造企業が5社と少ないために30%ほど値上りしています。建



築用は製造している企業が多いため、15～20%値上げに留まっている状況です。通常、建築業界は見積り書を提出後の値上げは認めてもらえませんが、土木業界は、例えばトンネルを掘ったら堅い岩盤があって工事の見直しがあるなど、工事を開始してみないと分からないこともあるため、作業途中の材料の値上げ分は認められます。その点は助かっています

●今後の夢や方針などをお聞かせください…

近年、塗装業界の分野が広がっています。その中で、食品関連企業向けに、防カビ・抗菌・防藻などに効果がある抗菌塗装“アピザス”をはじめ、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の技術を活用したエコ断熱塗装システムや高性能断熱塗料“ガイナ”は、長野県内においては当社が比較的早めに取り入れており、施工実績も豊富です。環境にも優しいこの分野の業務をさらに広めて



橋梁塗装の現場



工場屋根の現場

いきたいと考えています。

さらに、「ガラスのコーティング」にも力を入れて行こうと考えています。現在、省エネの観点から遮熱に関して、ガラス面にフィルムを貼ることが多いのですが、角から剥れやすく、拭くときに細かいキズができてしまいます。しかし、コーティングはガラスに塗料を塗布するため、乾燥すればガラスと同様になり剥がれませんし、キズも付きにくくなります。遮熱、紫外線カットや保温効果もあって耐久性にも優れており、すでに一部の教育施設や工場で施工されています。また、大きなガラス面をもつ自動車会社のショールームにも使われており、ガラスコーティングの分野の拡充も目指したいと思います。

これからも、先代が築いてくれた建築塗装の分野を大切にしながら、ほかの業者があまり取り扱っていない新たな塗料をいち早く取り入れ、付加価値のあるものをクライアントの皆様にご提案していきたいと考えています。



一般住宅の屋根の現場

●事業の概要

設立 1991(平成3)年  
 資本金 500万円  
 代表者 中沢英俊  
 従業員 14名(男12名・女2名)  
 業務 塗装工事業  
 所在地 長野県小布施町飯田640  
 URL <http://nakazawatosou.com/m/index.htm>

●沿革

昭和48年(1973)年 中沢塗装開業  
 平成3年(1991)年 (有)中沢塗装 設立  
 平成30年(2018)年 (株)中沢塗装に社名変更

# 北信濃 明治時代の風景



## (9) 妻科神社

長野郷土史研究会会長

小林 一郎

今年度は、明治10年代に各町村が長野県に提出した町村誌に描かれた挿絵を紹介します。今回は明治13年(1880)にできた『妻科村誌』の、妻科神社の図です。

### 妻科神社の図

長野県庁の北西にある、妻科神社(長野市妻科)の光景です。右上には、「水内郡妻科里、延喜式内、妻科神社境内、并独寐之橋真景」と書いてあります。

右下に鐘鑄川が流れ、「独寐橋」(独寝橋)が架かっています。民家の連なる通りに面して鳥居があり、その脇に「男根石」と「道祖神」が並んでいます。境内は「槻木林」となっています。

鳥居をくぐり石段を登ると拝殿があり、その奥に本殿があります。本殿の右には境内社の「アキ

ハ社」(秋葉社)と「コトヒラ」(金毘羅)があり、その鳥居も描かれています。

本殿の背後には「三寶塚」があり、また本殿左の石壇下には「宝石」があります。

### 延喜式内社

「延喜式内」は、平安中期に成立した『延喜式』に掲載されている古社という意味です。『延喜式』の「神名帳」には、国別郡別に神社名が記載されており、その信濃国水内郡の部に「妻科神社」の名があります。

また六国史の1つ『日本三代実録』によれば、貞観2年(860)に「妻科地神」に従五位下が授けられています。続いて貞観5年(863)には、従五位上が授けられました。



『妻科村誌』(長野県立歴史館蔵)より

### 三宝塚

こうした歴史の古さは、背後に「三宝塚」という古墳があることによっても裏付けられます。妻科神社は裾花川の河岸段丘の段丘崖にある神社で、背後が高くなっていて、段丘上に古墳があるのです。

妻科神社は、その古墳の前にまつられた神社です。本来は、この古墳に葬られた人物(神)を祭神とする神社なのでしょう。

「三宝塚」は御宝塚おたからや宝塚ともいい、現在でも妻科神社の西側の通りを宝塚通りと呼んでいます。

### つまなし

百人一首の「ながらへばまたこのごろやしのばれむ 憂しと見し世ぞ今は恋しき」で知られる平安末期の歌人、藤原清輔(1104~1177)に、『和歌初学抄』という歌学書があります。そこに記された信濃の歌枕(和歌に詠まれる地名)の中に、「つまなしの社」があります。鎌倉時代初期の歌論書『和歌色葉』には、「つまなしのみや」とあります。これらは妻科神社のことで、妻科は古くから「つまなし」と発音されていたことが分かります。

江戸時代の伊能忠敬(1745~1818)は全国を歩いて測量し、『大日本沿海輿地全図』を完成させたことで知られています。その図に妻科村は「妻梨村」と記されています。享和2年(1802)と文化11年(1814)に善光寺宿(長野市大門町)に宿泊して測量した伊能忠敬は、「ツマナシ」と耳で聞いて、「妻科」と書くことが理解できず「妻梨」の字を当てたのでしょう。

### 独寝橋

妻科をツマナシと言うことについては、次のように伝えられています。妻科神社の祭神は、妻科姫です。その女神は独身であったため、「夫無しつまなし姫」と呼ばれたというのです。現在はツマは妻ですが、昔は妻も夫も両方ともツマと言ったのです。

神社の南西の鐘鑄川に架かっていた独寝橋は、この独身の女神ゆかりの橋とされています。独寝



妻科神社の社務所前に置かれた独寝橋の橋石

では縁起が悪いということで、婚礼にはこの橋を渡らない習慣がありました。善光寺七橋の1つに数えられています。

「弘化二年巳五月」と刻まれたこの橋の橋石が、現在も妻科神社の社務所前に保存されています。

### 妻科神社の御柱祭

妻科神社は、武井神社(東町)・湯福神社(箱清水)とともに善光寺三鎮守の1つです。この三鎮守に健御名方富命彦神別神社(水内大社・城山県社)を加えた4社は、7年目ごとに順番に御柱祭を行う習慣があります。次の令和10年(2028)には、妻科神社に順番が回ってきます。

この4社の中で最も早く御柱祭を行った記録があるのは妻科神社で、嘉永7年(1854)から始まっています。これに続いて武井神社では万延元年(1860)に御柱祭が行われました。この武井神社の御柱祭行列を描いた大絵馬は、長野市の文化財に指定されています。

妻科神社にも御柱祭を描いた大絵馬があることは知られていませんでしたが、近年になって、嘉永7年(1854)、明治29年(1896)、大正9年(1920)の御柱祭の大絵馬があることが明らかになりました。

1月号は「往生寺」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)

◆自分や家計の将来に「金銭的な不安を感じている理由」

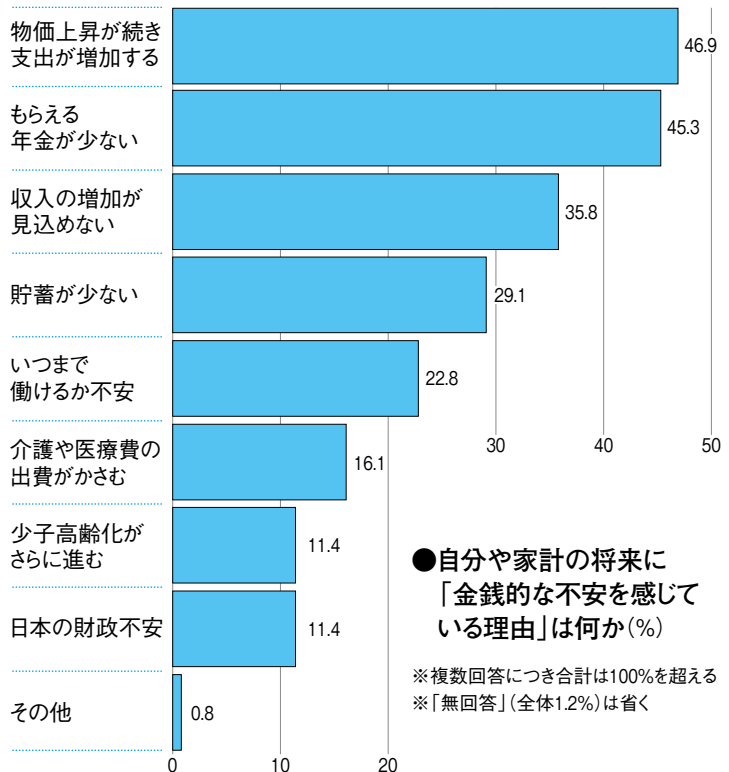
「物価上昇が続き支出が増加」47% 「もらえる年金が少ない」45%  
「収入の増加が見込めない」36%

「自分や家計の将来に金銭的な不安を感じている」と答えた78%の人に、その「不安を感じている理由」を聞きました。

1位は「物価上昇が続き支出が増加する」で47%、2位は「もらえる年金が少ない」で45%、3位は「収入の増加が見込めない」で36%、4位は「貯蓄が少ない」29%、5位は「いつまで働けるか不安」22.8%となっています。

男女別で1位から3位を見ると、男性は全体と比べ1位と2位が入れ替わり、女性は全体と同じ結果でした。

世代別で1位から3位を見ると、10～20代は1位と2位は全体と同じですが、3位は「貯蓄が少ない」46%になり、30～40代は2位と3位が入れ替わり、50代以上では年金が一番の心配事となっています。  
〈当金庫・2022年6月調査〉



項目	全体	男性	女性	10～20代	30～40代	50代以上
物価上昇が続き支出が増加	1位(47%)	2位(42%)	1位(54%)	1位(51%)	1位(57%)	3位(32%)
もらえる年金が少ない	2位(45%)	1位(46%)	2位(44%)	2位(42%)	3位(38%)	1位(56%)
収入の増加が見込めない	3位(36%)	3位(35%)	3位(37%)	4位(28%)	2位(41%)	2位(33%)

●みなさまの税務相談のご案内 [1月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
1月 6日	金 城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	1月 24日	火 篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)
11日	水 南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	25日	水 若穂支店	小布施支店 (中野支店)
12日	木 墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	26日	木 大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
17日	火 更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	27日	金 本店営業部	
18日	水 大豆島支店 (長池支店)		30日	月 本 部	
19日	木 屋代支店 (稻荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	31日	火 本 部	

